



## この本を手にとってくださったおうちのかたへ

本書は、発音・リスニング学習書『英語耳』（シリーズ累計 80 万部発行）の、初の小学生版です。大人の方に協力してもらいながら、**小学生のみなさんに、楽しく、そして最短距離で、ネイティブ※の“発音とリスニング”を習得して頂き、その後の英語学習を楽々のりきる基礎を作って頂くこと**を目的としています。

英語の技能は、1. 話す力、2. 聞く力、3. 読む力、4. 書く力、5. 語彙力に分類されます。なかでも話す力、つまり発音は、たいいていの大人たちにとって、身につけるのにもっとも時間のかかるむずかしい技能です。というのも学校教育の現場で、具体的な発音指導がほとんどおこなわれてこず、多くの日本人が英語を日本語式発音でおぼえてきてしまったからです。

**発音は軽視されがちですが、すべての英語学習の基礎です。**正しい発音ができるようになれば、ネイティブの英語も聞き取れるようになります。フォニックス（発音とつづりのルール）を知れば単語もおぼえやすくなりますし、そうなれば英文を書くことも読むこともできます。

**ネイティブ並の発音を身につけることは、5つの英語の技能を習得する近道なのです。**

上述した『英語耳』は「発音ができるとリスニングができる（発音練習をしてリスニング力を身につける）」というコンセプトで、多くの英語学習者に好評頂いております。

読者の方々からは「『英語耳』を子どもころ読みたかった。そしたら人生がかわっていた」という感想が多く寄せられました。日本語式発音を学んだあとで正しい発音を覚えなおすのは困難なことですし、英語学習を始める段階でネイティブ発音ができたら、その後の英語の習得スピードが段ちがいに上がるためです。

ぼくは小学生にも英語を教えているのですが、実際にネイティブ発音が身につけている子ほど手応えがまったくちがいました。**あきらかに英語の吸収が速く、勘がいいのです。**中学生、高校生、大学生にも教えていますが、大学生くらいになると、発音が身についているかどうかで、もう取り返しがつかないくらいの差がでています。**いかに早期に正しい発音をマスターするかで、その子の一生がかわるのです。**

ただし、ネイティブ発音は一朝一夕では身につけません。何度もくりかえして発音することでようやく身につきます。とはいっても、お子さんが根気強く英語学習をつづけるなんて、むずかしいことですよ。楽しくて面白い英語学習書でなくては、つづけられないのです。

そこで、本書では、**子どもたちに大人気の『100年後も読まれる名作 ふしぎの国のアリス』『かがみの国のアリス』（小社刊）の絵をオールカラーで掲載しました。**かわいらしいアリスと発音を学習することで、苦手意識を持たずに、ネイティブ発音を身につけられることでしょう。

この1冊をやりきれば、お子さんの英語力は格段にUPします。ぼくは、この本で使っているメソッドで小学生たちに英語を教えた際、おうちの方から、

**「ところどころだけど、うちの子が洋画のセリフを聞き取れるようになっていて感動した」**

という感謝の言葉も頂いています。あなたのお子さんも、きっとそうなります。

2016年7月 松澤喜好



※ネイティブ=英語を母国語とする人々